

一世憲深律師二世法印宥遍三世慶采四世

秀順五世靈精六世實照七世覺存八世祐晟

元和二年五月寂慈長十二年の條に九世とありハミヤや晟ハ重の字也九世範秀元和九年

ハ卦の末書に光勝寺住僧範秀とあり十世秀尊十一世明舜十二世

覺槃十三世堅覺十四世宥鏡十五世學念

十六世祐采十七世覺求十八世尊惠十九

世得仁二十世卓采二十一世宗賢二十二世

賢雄二十三世文雅二十四世宗空二十五世

宥田當時住僧なり長八年に著し聲

明集光勝寺住僧采長とありは僧名右

世代の内より見ても采長の實名としてはな

きよや

ぬ所ふといふ事ありも大概ハハ傳れた又

まて預まるにあハ二の歳よりて大徳元年

山の二社なり西ハ至るを孝祿の名よりて

沙所といふの形なり山ハ形あり山ハあ

らる神宮寺に對する山号として同郡飛鳥

村飛鳥社の學匠親善寺の山号を飛鳥山

と稱し又鶴り足常念寺の山号を鶴足山

といふごとく飛鳥村に飛鳥山として取